

いよいよ10月を迎えました。毎日に寒さを感じる季節です。でも、子どもたちは元気いっぱい毎日です。

子どもたちの物事に対する「意欲」すなわち「やる気」が運動会を見事に盛りあげてくれました。12月の生活発表会に向けても、いっしょに子どもたちのその力を発揮するよう導いていきます。

■運動会の後、年長児たちはホールや教室や廊下でボール投げのあそびが、この9月より本格的にはじまりました。

ボールを投げるばかりではなく、投げたボールを受け取ったり、転がってきたボールを素早くキャッチしたりの活動をします。

なかなか上手いかななくて苦勞しております。

そうですね！ドッジボールの練習なのです。ホールにラインが引かれ、

ルールの指導もありましたが、しっかり理解が出来するには実戦での経験しかありません。

ルールのあるあそびが出来ると年長児たちです。ルールを理解して、一生懸命に取り組んでくれるドッジボール大会を目指します。

■ご注文されたご家庭へ冬帽の毛糸をお届けしました。

着帽は12月1日からでございます。編み方を依頼されたご家庭には1月中にお届け出来るよう準備いたします。

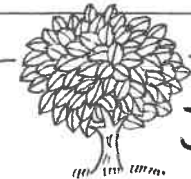


■年少組からグリーカードを使っての音楽活動を実施しております。年長児3年目です。見事な習得ぶりです。

音符の読み方、休符の見方は勿論の事ですが、絶対音感が身に付きはじめました。

コロナ対策として、ホームへの指導を控えて鈴（ハシロ）の活動を新しく取り入れた園生活の成果です。

ぜひともご家庭の方々に聴いて頂きたいので、その手紙を思案中です。



(心の育ちシリーズ)

## こぼれ木を持つ人になろう!!

7歳から12歳と言われるのは、人生の中で一番色々な事を感じる時期です。別名「ゴールデンエイジ」と言います。この時期、沢山の運動をすべきです。逆上がりや縄跳び、泳ぐことなど、運動を沢山することによって脳が発達します。この頃は、何となく吸収するけど、すぐに忘れてしまいます。何かすぐに興味を示して、すぐに飽きてしまいます。じっとおられず、飛んだり跳ねたりするし、話の脈絡と無いのです。

でも、これは悪い事ではあません。興味を持ち、即行動。まだ興味を持つ物があるところを即実行し、飽きたら次です。こうしたサイクルの中で、あちこちの神経が刺激され、広く大きく張り巡らされていくのです。お父さんお母さんは「この前、お友達と行ってたじゃないか」とか「つい最近やったこと忘れちゃったの?」と思ってしまう。しかし、心配しないで下さい。それは子どもが爆発的に成長しているのです。

多少飽きたり、おぼれちゃって、ニコリ笑ってごまかすのは、拍手を送ってあげましょう。

「ゴールデンエイジ」を過ぎると次は「反抗期」がやってきます。「親に反抗する時期」と考えるのは間違いです。反抗期と言いは、お腹の中にある時から母の声を聞いてきた子どもが、世の人の言葉を聞く為に母の言葉を生理的に拒絶する時期なのです。だから、それは「うざいよ」ということからの言葉にならざるを得ないのです。

「ゴールデンエイジ」の子どもは、現在色々な事を感じる時期に未だです。その後、<sup>後々</sup>育ちまわると言う所から羽ばたきます。言葉の羽ばたきの時期なのです。

ある小学校3年生のクラスで先生が黒板に大木を描きました。葉っぱが沢山ある木です。横に「言葉」という字を書きました。先生は「言葉という字は『言言葉』と書きます。言葉のひとつが『言葉ばば』と教えてくれました。そして先生は「みんなは『みんなは』言葉ばばが生い茂るような木を持つ人にならなう。本を沢山読んで、人の話をしっかり聞きまわう!!」と言いました。 日本講演新聞 コラムスト びきたよしあき 講演録